

平成26年度 公の施設目標管理型評価書【新潟市民芸術文化会館】

施設名	新潟市民芸術文化会館		
管理者名	(公財)新潟市芸術文化振興財団	指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成31年3月31日
新潟市主管課	新潟市文化スポーツ部文化政策課		
所在地	区名	中央区	住所 一番堀通町3番地2
根拠法令	—		
設置条例	新潟市民芸術文化会館条例		
施設概要	設置：平成10年10月 施設規模：鉄骨鉄筋コンクリート造、延床面積25,099.9㎡ 施設内容：コンサートホール（1,994人）、劇場（898人）、能楽堂（382人）、スタジオ（2室）、練習室（8室）、ギャラリー、展望ロビー、新津記念室 料金区分：午前、午後、夜間、全日の区分で場所ごとに料金を設定している。		

施設設置目的	
音楽、演劇、能その他の舞台芸術の振興を図り、もって市民文化の向上に資する。	

管理・運営に関する基本理念、方針等	
1	理念 芸術、芸能文化の継承と発展
2	期待される機能 【本質的な機能】 ・舞台芸術の振興 ・芸術文化活動の普及振興 【発展的機能】 ・都市の魅力の向上 ・良好な都市イメージを発信することによる、交流人口の拡大、経済波及効果の増大など
3	基本的使命 ① 市民の文化活動への支援 ② 質の高い専門性に富んだ芸術を鑑賞する機会の提供 ③ 文化を支える人材の育成 ④ 地域に根ざした文化創造

視点	点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント	
市	民	基準稼働率の達成	コンサートホール稼働率	89.0%以上	89.5%	B	
			劇場稼働率	78.0%以上	78.8%	B	
			能楽堂稼働率	47.0%以上	37.7%	C	前年度の稼働率よりも稼働率が落ちているので、より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
		4	基準利用者数の達成	年間利用者数347,000人以上	370,040人	A	目標を大きく上回り、評価できる。
		5	文化事業年間鑑賞者数	自主文化事業の年間鑑賞者数が、120,000人以上	120,621人	B	
		6	貸館利用者に対するサービスの提供	対応マニュアルを設置し、利用者の安全と満足度を意識したサービスの提供をしているか。	担当者・担当窓口を設置し、マニュアル等を基本としつつ、舞台装置の操作助言を行うなど、利用団体の特性や公演内容等に配慮した柔軟なサポートやサービスを提供している	A	利用団体の特性や公演内容等に配慮した柔軟なサポートやサービスを提供している点が評価できる。
		7	貸館利用者の意見やニーズを聴取する仕組の有無	実施していること	貸館利用報告書とアンケートが一体となっており、利用者の意見を聴取しやすい取り組みを行っている。また、イベントごとのアンケート集計を実施している	A	報告書やアンケートに工夫が見られ評価できる。
		8	貸館利用者（主催者）満足度	貸館利用者の満足度調査で、90%以上	100%	A	非常に高い満足度で、評価できる。
		9	文化事業公演年間公演回数	自主公演の年間公演回数が、118公演以上	345公演	A	目標を大きく上回り、評価できる。
		10	文化事業公演鑑賞者の意見やニーズを聴取する仕組の有無	実施していること	すべての公演でアンケートを実施し、回収結果を整理のうえ、事業担当者、管理職が情報共有している	A	事業担当者及び管理職がしっかりと情報共有している点が評価できる。
		文化事業公演等の鑑賞者の満足度	創造系作品鑑賞者の満足度調査	90%以上	96.8%	A	非常に高い満足度で、評価できる。
	鑑賞系公演鑑賞者の満足度調査		90%以上	98.0%	A	非常に高い満足度で、評価できる。	
	普及系公演鑑賞者の満足度調査		90%以上	96.6%	A	非常に高い満足度で、評価できる。	
	育成系公演鑑賞者の満足度調査		90%以上	99.3%	A	非常に高い満足度で、評価できる。	

	15	ワークショップ数・アウトリーチ回数	育成系事業ワークショップ数・アウトリーチ回数が、年間48回以上	54回	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	16		普及系事業ワークショップ数・アウトリーチ回数が、年間17回以上	37回	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	17	育成系事業延べ参加者数	育成系事業の延べ参加者数 ジュニアオーケストラ(130人)、ジュニアコーラス(90人)ジュニア邦楽(30人)アプリコット(50人)以上	Jrオケ 131人 Jrコーラス 105人 Jr邦楽 39人 アプリコット 48人	B	
	18	創造系事業の実施	年間公演回数が、27回以上	50回	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	19	創造系事業市外公演回数	年間公演回数が、17回以上	24回	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	20	公演や催し物情報の情報発信	下記の取組をしているか。 ①ホームページ、②メールマガジン、③テレビ・ラジオ、④新聞、⑤雑誌、⑥機関紙	①～⑥ すべて取組あり	A	積極的な情報発信を行っている点が評価できる。
	21	地域アピールに関する取り組み	活動と成果を、地域内外に積極的に広報しているか。	アプリコット白根公演 物語の女S東京公演 Noism神奈川公演	A	地域内外に積極的にアピールしている点が評価できる。
	22	会館記事の新聞掲載件数	名称や事業名等が新聞等に掲載された件数が年間150件以上	123件	C	目標を下回っているの で、今以上にメディアへのアピールを積極的に 行うことを望む。
	23	会館会員サービス、チケット販売サービスに関する取り組み	下記の取組をしているか。 ①会員先行予約・優先予約制度、 ②チケット購入者への駐車場割引、 ③チケット割引制度、④セット券の 販売、⑤カード決済⑥会員への機 関紙の送付	①～⑥ すべて取組あり	A	サービスに関する様々な 取り組みを行っていた点 が評価できる。
	24	会館会員数の確保	年度末を基準として、5,400人以上 の会員数の確保	5,127人	C	目標を下回っているの で、会員数増加のための 更なる広報に努めて欲しい。
25	ホスピタリティに関する取り組み	職員にホスピタリティ上の必要性 を徹底するとともに、利用者側 に立ったサービスの提供をして いるか。	①ホスピタリティ向上の必要性 をスタッフに徹底している。 ②職員の服装や身だしなみ、 挨拶の励行を徹底している。 ③客席案内やもぎりなどの サービスに努めている。 ④利用者の意見を収集して いる。 ⑤ホームページやチラシに館 のアクセス経路や問合せ先を わかりやすく掲載している。	A	ホスピタリティ向上の為 に様々な取り組みを行っ ている点が評価できる。	
財 務	1	文化事業 自主財源比率	自主財源比率 60%以上	61.3%	B	
	2	文化事業収入拡大に関する取り組み	事業担当者が、必要に応じて営業 活動を行い、事業収入の拡大に取 り組んでいるか。	事業担当者が及び営業の担当 者が、積極的にチケットの販 売経路や顧客開拓、利用者拡 大のための営業活用等を行 い、事業収入の拡大に努めて いる。	A	事業収入の拡大に向け た積極的な取り組みを 行っている点が評価でき る。
	3	外部資金導入額、導入率、外部資金導入に関する取り組み	外部資金の必要性を検討し、必要 に応じて情報収集を行い、都度外部 資金の獲得に取り組んでいるか。	外部資金を戦略的に捉え、日 頃から助成金の情報収集や 企業に協力・協賛を依頼でき る関係づくりを行い、積極的 に外部の資金の獲得・活用に 努めている。	A	積極的に外部の資金の 獲得・活用に努めている 点が評価できる。
	4	経費の削減	指定管理料(管理経費・事業費補 助)を年度協定額及び交付決定額 以下に抑える。 指定管理料: 617,024,000円 ⇒変更協定により 635,600,000円 事業補助金: 210,000,000円 ⇒変更契約により 196,424,000円	指定管理料 635,678,693円 事業補助金 190,551,310円	B	光熱水費値上等による 指定管理料の変更協定 を締結した。 これについては、止むを 得ないものと考ええる。
	5	市の歳入の増加	使用料収入 71,000千円以上	73,164千円	B	
業 務	1	長期的な視点にたった管理施設の保全	長期修繕計画を作成し、必要に応じ て見直しを行う。	修繕計画がある	B	
	2	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	連絡体制の確立	消防訓練、防災訓練を実施し ている。緊急時の迅速に、責 任体制、マニュアル及び連絡 網が整備されている。	A	消防訓練、防災訓練を 実施し、責任体制、マ ニュアル等も整備されて いる点が評価できる。
	3	事件・事故発生時の対応の適切さ	AEDの使用法の周知徹底	AEDの操作訓練を実施してい る。	B	
	4	日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	毎月10日までに提出	B	
	5	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日まで に提出	4月30日までに提出	B	
	6	改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速や かにそれに対応する。	改善勧告等は特になかった。	B	

	7	運営方針・事業目標の位置づけ	自館の設置目的、基本的使命が、運営の指針となっているか。	文化政策の一環として位置付けた独自の運営方針があり、劇場・ホールの事業や運営の指針となっており、達成目標が明確である	A	文化政策の一環として位置付けた独自の運営方針があり、達成目標が明確である点が評価できる。
	8	運営方針、事業目標の市民への公開	運営方針をホームページに掲載し、評価のためのアンケートを実施しているか。	施設の運営方針は、HPに掲載している。市民の意見や運営改善、評価のためにアンケートを実施している。	B	
	9	運営方針、事業目標に関する自己評価等の有無	自館の設置目的、基本的使命に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業改善に役立っているか。	施設の運営方針に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善に役立っている。	A	施設の運営方針に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善を行っている点が評価できる。
	10	運営方針を実現するための経営戦略の有無	市と定期的なミーティングを行い、経営戦略の見直しに取り組んでいるか。	市と定期的なミーティングを実施しており、運営方針を踏まえながら、経費の節減や経営の効率化に取り組んでいる	B	
	11	個人情報保護に関する実施の有無	実施していること	財団内に個人情報保護規定があり、研修が実施されている。	B	
	12	当該施設の管理に関する関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	内部研修を行っている。	B	
	13	守秘義務の徹底	守秘義務違反に該当する問題がないこと	守秘義務違反に該当する問題はなかった。	B	
	14	他の公立館との共同・連携企画の有無・回数	共同・連携公演の企画が年間3つ以上	8企画	A	目標を大きく上回り、評価できる。
人材	1	専門性の高い人材の配置、育成	館の各業務に必要な専門的知識や技能、経験、資格等を備えた職員を配置すること	専属の芸術監督やオルガニストを配置している。また、音楽・演劇・舞踏などの各分野において専門家からの指導・助言を受けているほか、外部主催の専門的研修会にも積極的に参加している。	A	専属の芸術監督やオルガニストを配置しており、外部主催の専門的研修会にも積極的に参加している点が評価できる。
	2	職員のスキルとモチベーションの向上	内部研修を行い、必要に応じ、外部研修を利用しているか。	組織内部での研修実施や、外部研修にも積極的に参加するほか、自主企画事業の実施を通じ、スキルアップを図っている。	A	内部・外部研修のほか、自主企画事業の実施を通じ、スキルアップを図っている点が評価できる。
	3	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	労働基準法違反に関する事例はなかった。	B	

総合評価（所見）

・年間利用者数が目標を約23,000人上回っており、高く評価できる。貸館利用者（主催者）の満足度については100%の利用者から満足という回答を得ており、非常に評価できる。また、文化事業公演等の鑑賞者の満足度も全分野で96%以上となっており、昨年度が90%前後のだった点から見ても非常に評価できる。
・基準稼働率の達成については、コンサートホール・劇場は目標及び昨年度を上回っているのに対し、能楽堂は目標及び昨年度の稼働率を下回っている。今後、一層の取り組みを期待する。
・会館記事の目標掲載数及び会館回数の確保が目標を下回っているため、今後更なる積極的な広報を期待する。

評価基準

- A 要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準（＝評価指標）が達成されている。
- C 要求水準（＝評価指標）が達成されていない。